

ロボット支援下肝切除を受けられた患者さんの診療情報等を 研究に利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、九州医療センター倫理審査委員会 の審査を受け、病院長承認のもと、下記の臨床研究を実施しております。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

当該研究に診療情報等が用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の[相談窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

研究課題名	CUSA 併用ロボット支援下肝切除の有用性						
研究実施機関の 研究責任者	九州医療センター 肝胆膵外科 播本憲史						
研究の背景	肝切除は切除する栄養血管を最初に切った方が出血や術後の合併症が少ないといった報告があり、このため CUSA®という肝切離に用いるデバイスを用いて最初に栄養血管を確保することが多いとされます。しかしロボット手術ではこの CUSA®を用いた肝切除は広く普及しておらず、CUSA®併用の肝切の有効性は明らかではありません。当科における栄養血管を最初に切る手法をもちいたロボット肝切除のうち CUSA を併用あるいは併用しなかった肝切除術のアウトカムを比較検証することが必要です。						
研究目的	当科における当該ロボット肝切除の CUSA®併用の有用性を検証することでさらなる治療成績向上をはかります。						
研究実施期間	【調査対象期間】2023 年 8 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までに当科でロボット支援下肝切除を受けた方のうち、切除側の栄養血管を肝切除前に切離した方の退院日までの術後経過を調査します。 【研究期間】倫理審査委員会承認後から 2026 年 11 月 21 日まで						
研究の方法	【対象となる方】 2023 年 8 月 1 日から 2026 年 6 月 30 日までに当科で当該肝切除を受けた方 【調査方法】 診療録から情報を収集して、解析します。 【研究に利用する診療情報】 <table><tr><td>☐年齢 ☐性別 ☐身長 ☐体重 ☐写真【部位： 】</td></tr><tr><td>☐病歴 ☐既往歴 ☐治療歴【 】</td></tr><tr><td>☐予後【手術から退院まで】</td></tr><tr><td>☐臨床検査データ【 肝機能, 血清アルブミン, 総ビリルビン 】</td></tr><tr><td>☐画像データ【 】</td></tr><tr><td>☐アンケート【 】</td></tr></table>	☐ 年齢 ☐ 性別 ☐ 身長 ☐ 体重 ☐ 写真【部位： 】	☐ 病歴 ☐ 既往歴 ☐ 治療歴【 】	☐ 予後【手術から退院まで】	☐ 臨床検査データ【 肝機能, 血清アルブミン, 総ビリルビン 】	☐ 画像データ【 】	☐ アンケート【 】
☐ 年齢 ☐ 性別 ☐ 身長 ☐ 体重 ☐ 写真【部位： 】							
☐ 病歴 ☐ 既往歴 ☐ 治療歴【 】							
☐ 予後【手術から退院まで】							
☐ 臨床検査データ【 肝機能, 血清アルブミン, 総ビリルビン 】							
☐ 画像データ【 】							
☐ アンケート【 】							

	☒有害事象【副作用・合併症の発生等】 ☒その他【術式、手術時間、肝切離時間、グリソン確保時間、出血量 輸血 術後在院日数 】 【情報等の管理】 ●情報の管理責任者 九州医療センター 肝胆脾外科 科長 播本憲史	
個人情報取扱い	情報等には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。研究成果は学会で発表されますが、個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。	
研究組織	この研究は、当院のみの単施設研究です。 相談窓口 九州医療センター 肝胆脾外科（職名：科長） 播本憲史 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700	